

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【公開番号】特開2009-86440(P2009-86440A)

【公開日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2009-016

【出願番号】特願2007-257623(P2007-257623)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/16 1 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月30日(2010.9.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トナー像が形成される像担持体と、  
弾性層を有して、前記像担持体から転写されたトナー像を担持する中間転写体と、  
表面に離型層を有して、前記中間転写体との間で記録材を挟持搬送して転写部を形成する転写回転体と、  
前記転写部へ電圧を印加して、前記中間転写体から記録材へトナー像を転写させる電源手段と、  
転写されたトナー像を記録材へ定着して出力画像を形成する定着手段と、を備える画像形成装置において、

前記出力画像における記録材の搬送方向の長さを調整可能な調整手段と、  
前記中間転写体の表面の光沢度を検知する光沢度検知手段と、  
前記中間転写体の摩擦係数の変化に伴う前記出力画像における記録材の搬送方向の長さの変化を減少させるように、前記光沢度検知手段による前記中間転写体の表面の光沢度の検知結果に基づいた制御量を前記調整手段に設定する制御手段と、を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記光沢度検知手段は、前記像担持体に形成されて前記中間転写体に転写される制御用トナー像を検知する反射光検知手段を兼ねて、前記像担持体と前記転写部との間に配置されることを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記中間転写体の初期状態にて、前記光沢度検知手段を通じて前記光沢度の初期測定値を求めるとともに、前記出力画像における記録材の搬送方向の長さを測定するための測定用画像を記録材に画像形成することを特徴とする請求項 2 記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記測定用画像における記録材の搬送方向の長さを測定可能な測定手段を備え、  
前記制御手段は、前記測定用画像における記録材の搬送方向の長さの前記測定手段による測定結果に応じて前記制御量の初期設定値を設定することを特徴とする請求項 3 記載の画像形成装置。

## 【請求項 5】

前記測定用画像における記録材の搬送方向の長さを手動操作により測定した測定結果を入力可能な入力手段を備え、

前記制御手段は、入力された前記測定結果に応じて前記制御量の初期設定値を設定することを特徴とする請求項 3 記載の画像形成装置。

## 【請求項 6】

前記転写部の温度湿度を検知する検知手段を有し、

前記制御手段は、前記中間転写体の摩擦係数の変化に伴う前記出力画像における記録材の搬送方向の長さの変化を減少させるように、前記検知手段を通じて検知した温度湿度に応じて前記制御量を設定することを特徴とする請求項 1 乃至 5 いずれか 1 項記載の画像形成装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明の画像形成装置は、トナー像が形成される像担持体と、弾性層を有して、前記像担持体から転写されたトナー像を担持する中間転写体と、表面に離型層を有して、前記中間転写体との間で記録材を挟持搬送して転写部を形成する転写回転体と、前記転写部へ電圧を印加して、前記中間転写体から記録材へトナー像を転写させる電源手段と、転写されたトナー像を記録材へ定着して出力画像を形成する定着手段とを備えたものである。そして、前記出力画像における記録材の搬送方向の長さを調整可能な調整手段と、前記中間転写体の表面の光沢度を検知する光沢度検知手段と、前記中間転写体の摩擦係数の変化に伴う前記出力画像における記録材の搬送方向の長さの変化を減少させるように、前記光沢度検知手段による前記中間転写体の表面の光沢度の検知結果に基づいた制御量を前記調整手段に設定する制御手段とを備える。